

ITインフラ・クラウド基礎科 カリキュラム (eラーニング)

訓練科名	ITインフラ・クラウド基礎科
訓練期間	9月開講：9/1～12/31 / 10月開講：10/1～1/31 / 11月開講：11/1～2/28
目指せる職種	①インフラエンジニア ②ITサポート
取得が目指せる資格	①LinuC Level1 ②AWS Certified Cloud Practitioner (CLF)
主要な機器設備	パソコン (Windows または Mac)、仮想環境ツール：VirtualBox または WSL2、ターミナルソフト：Tera Term または PowerShell、Office、Zoom

■ 目指す仕上がり像

クラウド時代のシステム安定稼働を支え、セキュリティリスクから企業を守る「ITインフラ運用・保守のプロフェッショナル」

- 業務遂行能力 (テクニカル)**：Linuxサーバーの基本的な操作・設定能力に加え、AWS等のクラウド環境におけるインフラ構築・運用の基礎スキルを有する。システム障害発生時には、ログを確認して一次切り分けを行い、迅速な復旧支援ができるトラブルシューティング能力を身につけている。
- ビジネス貢献 (付加価値)**：現代企業の生命線であるITインフラを「止めない」ための安定運用に貢献する。また、情報セキュリティの重要性を深く理解しており、アカウント管理やアクセス権限の適切な設定を通じて、情報漏洩リスクを低減させる「セキュリティの番人」としての役割を担う。
- マインドセット**：技術の進化が速いIT業界において、自ら最新のクラウド技術やセキュリティ動向を学び続ける学習意欲を持つ。また、開発チームやユーザー部門と連携し、専門用語をわかりやすく説明できるコミュニケーション能力を有する。

■ 身につくスキル

- Linuxサーバー構築・コマンド操作スキル**：Linux OSの基本構造を理解し、コマンドライン (CUI) を用いたファイル操作、ユーザー管理、権限設定、およびWebサーバー等の構築を行う能力。
- クラウドインフラ構築・運用スキル**：AWS (Amazon Web Services) 等のパブリッククラウドにおいて、仮想サーバー (EC2) の立ち上げ、ストレージ設定、ネットワーク構築を行う実務能力。
- ネットワーク基礎・トラブルシューティングスキル**：IPアドレス、サブネットマスク等のネットワーク概論を理解し、接続トラブル発生時に原因の一次切り分け (ログ確認等) を行う能力。
- セキュリティ設定・リスク管理スキル**：ファイアウォールやアクセス権限 (IAM) の適切な設定を行い、外部攻撃や不正アクセスからシステムを守るためのセキュリティ実装能力。

■ 訓練の内容

	科目	科目の内容	時間	
訓練の内容	オリエンテーション	オリエンテーション	—	
	【共通科目】			
	キャリア形成・マインドセット	自己理解、目標設定、学習継続	5時間	
	就労基礎力	ビジネスマナー、リモートワーク、オフィス系	20時間	
	デジタル基礎リテラシー	IT基礎、AIリテラシー、情報管理	15時間	
	専門分野理解・選択	職種理解、適性整理	10時間	
	【専門科目】			
	IT・AI基礎	プログラミング基礎	15時間	
	データ活用	データ処理・可視化	15時間	
	AI活用	生成AI・業務活用	15時間	
	ITパスポート等	資格対策	15時間	
	試験対策	LinuC、AWS認定(CLF)	10時間	
	実技	Linuxサーバー構築演習	コマンド操作の習得	10時間
		クラウドインフラ構築演習	AWS/Azure等 画面操作	10時間
ネットワーク・セキュリティ演習		通信と安全の基礎	10時間	

訓練時間総合計

150時間

学科

120時間

実技

30時間